

令和元年度提携事業 実施状況一覧

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	★伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価に係る外部評価	新規 (単年度)	企画部 経営企画課	政治経済学部 経済学科 小崎 敏男 教授	次期計画の策定に供するため、伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等について、総括的な意見を伺う。	期 日 令和元年7月～令和元年10月
						場 所 —
						内 容 総合戦略の進捗状況等に関して専門的な立場で意見等をいただいた。
						参加者数 —
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただいた。
2	次期シティプロモーション方針の検討	新規 (単年度)	企画部 広報戦略課	文化社会学部 広報メディア学科 河井 孝仁 教授	いせはらシティプロモーション推進計画の実績評価及び令和2年度以降のシティプロモーションの進め方について、検討を行う。	期 日 令和元年8月20日、11月11日～令和2年3月末(予定)
						場 所 東海大学湘南キャンパス 他
						内 容 いせはらシティプロモーション推進計画実績評価及び次期方針の策定
						参加者数 3名
						成果及び課題 専門的な見地から、シティプロモーションについて意見等をいただいている。
3	健康いせはら21(第3期)計画推進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 看護学科 三橋 祐子 講師	平成30年度から令和4年度までを計画期間とする健康いせはら21計画(第3期)をより効果的に推進するための会議を実施する。	期日 令和元年11月11日 令和2年2月上旬(予定)
						場所 伊勢原シティプラザ3階 研修室
						内容 健康いせはら21(第3期)計画の実績と評価に関する検討
						参加者数 10名
						成果及び課題 より効果的な計画推進に向けて各関係分野より意見等聴取ができた。
4	地域コミュニティ形成に関わるまちづくりへの提案	継続	都市部 都市政策課	工学部 建築学科 加藤 仁美 教授	行政提案型市民協働事業 郊外住宅地の実態調査を通じて、持続可能な地域コミュニティの形成に関わるまちづくり提案を行う。	期 日 令和元年10月～令和2年3月
						場 所 市内全域
						内 容 平成28年度から実施している市民協働事業の成果のまとめ
						参加者数 1名
						成果及び課題 【成果】大学や地域、行政の交流により、地域コミュニティの形成、郊外住宅地の活力の創造が期待される。また、大学研究のノウハウを生かした市の将来のまちづくりに資する提案が期待できる。 【課題】今年度で加藤教授が定年退職予定。次年度以降の体制検討の必要がある。

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	災害時医薬品の供給業務	継続	企画部 危機管理課	医学部付属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理等を行う。	期 日 通年
						場 所 市内7箇所医療救護所
						内 容 災害時医薬品管理及び更新
						参加者数 延べ8名
						成果及び課題 災害時医薬品の適正管理

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
2	認知症に関する 医療と介護の連 携	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 瀧澤 俊也 教授	地域包括支援セン ター・医師会・認知 症疾患医療セン ター（東海大学病 院）、市により、認知 症にかかる医療と介 護の連携を強化す る。	期 日 令和元年5月28日、11月12日
						場 所 東海大学医学部1号館2階第一会議室
						内 容 湘南西部地域の認知症初期集中支援 事業等の情報交換
						参加者数 各回35名
						成果及び 課題 湘南西部市町の認知症初期集中支援 事業等の進捗状況や課題の把握ができた。
3	ライフケアセン ターとの包括的な 健康づくり事業	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎 泰弘 教授	健診未受診の方を 健診受診につなげ るための健康パス等 の事業を実施し、市 民の健康増進を推 進する。	期 日 令和元年7月16日～12月3日 計11回
						場 所 各自治会館等
						内 容 骨量・体組成・血管年齢測定など
						参加者数 400名
						成果及び 課題 健診未受診者に健診受診勧奨ができた。
4	小児看護学実習 I	継続	子ども部 子ども育成課	医学部 看護学科	看護師資格の取得 に向け、公立保育 所での現場実習を 実施する。	期 日 ①令和元年10月7日～10月10日 ②令和2年1月14日～1月17日（予定）
						場 所 大山保育園・高部屋愛育保育園
						内 容 小児病棟での小児看護学実習の前実 習として、公立保育所において実習生を 受け入れる。
						参加者数 ①8名 ②8名
						成果及び 課題 学生が小児の発達段階や成長過程の 理解を深めることにより、看護師の育成 に寄与することができる。
5	救急車同乗実習	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	現場救急医療から 院内医療への救命 リレーの重要性を学 習する。	期 日 平成31年4月19日～令和元年6月6日
						場 所 伊勢原市消防署本署
						内 容 救急車同乗実習
						参加者数 5名（東海大学医学部6年生）
						成果及び 課題 救急車同乗出動件数 22件（1人平均4.4 件）
6	伊勢原市派遣型 救急ワークステー ション	新規	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派 遣し救急救命士の 再教育を行うと供 に、医師同乗で出 動し救命率の向上 を図る。	期 日 平成31年4月15日～令和2年3月24日
						場 所 東海大学医学部付属病院
						内 容 救急救命士再教育病院実習
						参加者数 救急救命士23名（予定）
						成果及び 課題 救急救命士の再教育を実施しながら医 師、看護師同乗で出動し救命率の向上 を図る。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
7	令和元年度伊勢 原市学校保健会 講演会	継続	学校教育課	文学部 芳川 玲子 教授	小中学校の児童生徒を始め、子どもたちの健全な発達及び健康づくりの視点に立った学校運営の参考に視することを目指す。	期 日 令和2年2月19日（予定）
						場 所 伊勢原市立図書館 AVホール
						内 容 伊勢原市学校保健会講演会
						参加者数 伊勢原市学校保健会会員 約50名
						成果及び 課題 専門的見地から、講演会講師として意見・提案をいただく講演会を実施。

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	伊勢原市行財政 改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課	政治経済学部 政治学科 出雲 明子 准教授	市の行財政運営の点検を行い、伊勢原市行財政改革推進計画の進捗状況について意見を述べる。	期 日 令和2年3月（予定）
						場 所 未定
						内 容 第5次行財政改革推進計画、公共施設等総合管理計画実施計画の進行管理外
						参加者数 未定
						成果及び 課題 専門的な見地から意見をいただく。（予定）
2	伊勢原市情報公 開審査会	継続	総務部 文書法制課	健康学部 健康マネジメント学 科 堀越 由紀子 教授	情報公開請求の諾否決定に対する審査請求や情報公開制度の在り方に関し、市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 令和元年8月5日
						場 所 伊勢原市役所 全員協議会室
						内 容 情報公開請求の諾否決定に対する審査請求に関し、実施機関からの諮問に対して調査審議していただき、答申をいただいた。
						参加者数 5名
						成果及び 課題 専門的見地から意見をいただいた。
3	伊勢原市個人情報 保護審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授 健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 期日時点未実施
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び 課題 —
4	伊勢原市人権施 策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	伊勢原事務部 伊勢原人事課 桑久保 ひとみ 課 長代行	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 令和2年1月（予定）、2月（予定）
						場 所 未定
						内 容 人権施策の点検・評価について
						参加者数 未定
						成果及び 課題 未定

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
5	伊勢原市いじめ 問題再調査会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	医学部 医学科 本多 ゆみえ 講師 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授 (R2.2月委嘱予定)	いじめ防止対策推 進法の規定による調 査の結果について、 市長の諮問に応じ て調査し、その結果 を答申する。	期 日 令和2年2月(予定)
						場 所 未定
						内 容 伊勢原市におけるいじめの現状につい て
						参加者数 未定
						成果及び 課題 未定
6	伊勢原市男女共 同参画推進委員 会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	医学部付属病院 診療技術部栄養科 後藤 陽子 科長補 佐	男女共同参画社会 の形成をめざした伊 勢原市民のネット ワーク化や男女共 同参画行政の総合 的な推進を図る。	期 日 令和元年5月15日、9月2日 ※その他、部会を年2回程度開催
						場 所 伊勢原市役所2C会議室
						内 容 事業計画案について、男女共同参画 フォーラムについて
						参加者数 19名
						成果及び 課題 成果及び課題:専門的分野の知識や経 験による意見をいただいた。
7	伊勢原市環境対 策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年 度報告書など環境 対策に関する重要 な事項を調査審議 する。	期 日 令和元年11月21日
						場 所 市役所本庁舎 2C会議室
						内 容 第二次伊勢原市環境基本計画平成30 年度報告について
						参加者数 10名
						成果及び 課題 専門的見地からご意見をいただいた。
8	伊勢原市清掃美 化審議会	継続	経済環境部 環境美化セン ター	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度 の改善整備及び清 掃美化に関する根 本的対策を調査審 議する。	期 日 ①令和元年10月15日 ②令和2年1月30日(予定)
						場 所 ①全員協議会室②はだのクリーンセン ター(予定)
						内 容 伊勢原市清掃美化審議会の概要につ いて、環境衛生事業の概要について説 明及び意見交換
						参加者数 ①12名
						成果及び 課題 専門的見地から、清掃美化審議会にて 意見等をいただいている。
9	伊勢原市社会福 祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 医学科 渡辺 雅彦 教授 健康科学部 社会福祉学科 東 奈美 准教授	市長の諮問に応じ て社会福祉に関す る事項について、調 査及び審議を行う。	期 日 計画策定時など、必要に応じて開催。 今年度は現時点で開催予定なし。
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び 課題 —
10	伊勢原市成年後 見・権利擁護推 進センター運営 委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教 授	伊勢原市成年後 見・権利擁護推進セ ンターの公平性か つ中立性の確保及 び円滑で適正な事 業運営ができるよう 助言等を行う。	期 日 令和元年7月31日 令和2年2月13日(予定)
						場 所 市役所議会第2委員会室、
						内 容 ・成年後見・権利擁護推進センターの事 業実施状況について ・市民後見人の養成について 他
						参加者数 5名
						成果及び 課題 専門的見地からセンター運営委員会に て意見をいただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
11	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	新規	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期 日 令和元年11月29日
						場 所 図書館第1・第2会議室
						内 容 第4期伊勢原市地域福祉計画関連施策の取組の評価
						参加者数 11名
						成果及び課題 専門的見地から、地域福祉計画の平成30年度の取組みについて意見をいただいた。
12	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 中野 いずみ 教授	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期 日 毎月3回（第2金曜日、第1火曜日、第3火曜日）
				健康学部 健康マネジメント学科 市川 享子 講師		場 所 伊勢原市役所 会議室
				医学部 医学科 市村 篤 講師		内 容 介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
				参加者数 5名		
				成果及び課題 専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。		
13	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期 日 令和元年 6月25日、7月9日、9月25日、10月10日 令和2年 1月28日（予定）、2月10日（予定）
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 ・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画の点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
						参加者数 20名程度（協議内容により変更あり）
						成果及び課題 各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができている。
14	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期 日 令和2年2月（予定）
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 第1期伊勢原市自殺対策計画の点検評価
						参加者数 13名
						成果及び課題 専門的な意見や指摘をいただき、計画の点検評価及び検討ができている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）	
15	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科 西村 昌記 教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期 日 令和元年5月22日（臨時） 8月1日、11月14日 令和2年2月6日（予定）	
						場 所 伊勢原市役所 議会全員協議会室 他	
						内 容 第1回： 介護保険事業者の指定に係る条件付与について 第2回： 令和元年度伊勢原市地域包括支援センター活動計画について 他 第3回： 介護予防日常生活圏域ニーズ調査について 他	
						参加者数 各回12名程度	
						成果及び課題 専門的見地から介護保険運営についての意見等をいただいた。	
16	伊勢原市介護認定審査会	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部内科学系リウマチ内科学 佐藤 慎二 教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。 【任期】 平成31年4月1日～令和3年3月31日	期 日 令和元年12月末時点 【実施済み】44回 【今後実施予定】24回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は8合議体に所属し、月1回出席する。（審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる）	
				医学部付属病院看護師 鈴木 美紀 主任		場 所 伊勢原市役所 公害棟会議室	
				医学部付属病院看護師 堤 千加子 主任			
				医学部リハビリテーション技術科 高橋 真須美 科長			
				医学部リハビリテーション技術科 中里 友哉 係長			
				健康科学部社会福祉学科 阿部 正昭 准教授			内 容 介護保険法に基づき、要介護（要支援）認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。
				健康科学部社会福祉学科 船水 浩行 教授			
医学部看護学科 庄村 雅子 准教授	参加者数 委員4名						
医学部看護学科 小椋 正道 講師	成果及び課題 専門的見地から意見等をいただいている。						
17	高齢者虐待対応緊急作業会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科	高齢者虐待対応の中で、虐待と認定された後、緊急性の判断をしたり、具体的支援方法、支援期間を設定するため、会議を開催する。	期 日 未実施 ※ケース対応に専門的見地から意見をいただくため、必要に応じて依頼	
						場 所 —	
						内 容 —	
						参加者数 —	
						成果及び課題 —	
18	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部医学科基礎医学系生体構造機能学 福山 直人 教授	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期 日 令和元年5月15日、10月15日 令和2年1月15日	
				医学部看護学科 岡部 明子 准教授		場 所 伊勢原市役所 2C会議室 他	
				医学部付属病院患者支援センター総合相談室 内田 敦子 室長		内 容 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制や医療介護関係者の研修、地域住民向け講演会等について検討する。	
				参加者数 17名			
				成果及び課題 各委員から、医療及び介護の専門的見地からの意見等をいただいた。			

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
19	伊勢原市地域医療連絡会	継続	保健福祉部 健康づくり課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	安心できる医療・保健の実現を目指し、地域医療のあり方等について研究・調整を行う。	期 日 未実施 ※必要に応じて開催。
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び 課題 —
20	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部長 沓澤 智子 教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日 令和元年12月11日 令和2年2月（予定）
						場 所 伊勢原市役所 2C会議室
						内 容 来年度のスポーツ関係団体の補助金について等
						参加者数 12名（予定）
						成果及び 課題 専門的な見地から意見等をいただく
21	伊勢原市国民健康保険運営協議会	継続	保健福祉部 保険年金課	健康科学部 社会福祉学科 東 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日 令和元年8月21日、令和2年2月（予定）
						場 所 伊勢原市役所 2C会議室
						内 容 国民健康保険の財政運営状況について
						参加者数 9名
						成果及び 課題 国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見等をいただいている。
22	伊勢原市子ども・子育て会議	継続	子ども部 子ども育成課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日 令和元年7月30日、8月28日、10月2日、 10月30日、 令和2年1月中～下旬（予定）
						場 所 伊勢原市役所 全員協議会室 外
						内 容 第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の策定に関する事項の審議 外
						参加者数 14名
						成果及び 課題 議案に関して専門的な見地から意見等をいただいている。
23	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	継続	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取組む。	期 日 令和元年7月26日
						場 所 図書館会議室1・2
						内 容 平成30年度の本市の児童虐待受理状況及び重点改題について検討した。また、普及啓発活動について報告した。令和元年度の計画（案）について検討した。
						参加者数 22名
						成果及び 課題 関係機関が集まり、本市の児童虐待の状況について、検討し助言をいただき、課題がより明確になった。今後の取組について大変参考になった。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
24	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	工学部 建築学科 加藤 仁美 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日 【第1回】令和元年5月30日 【第2回】令和元年8月21日 【第3回】令和元年11月27日
						場 所 全員協議会室
						内 容 第1回： ・伊勢原市立地適正化計画について ・特定生産緑地について 第2回： ・都市計画道路の検証結果について 第3回： ・伊勢原市立地適正化計画について ・都市計画道路の検証結果について ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変更
						参加者数 第1回：12名 第2回：13名 第3回：12名
						成果及び 課題 委員の委嘱と、報告事項に関して専門 的知見から意見をいただいている。
25	伊勢原市まちづくり審議会	継続	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援並びに開発事業の協議調整、また、景観まちづくりに関する審議を行う。	期 日 令和元年11月22日
						場 所 全員協議会室
						内 容 (1)審議事項 大山地区における景観重点地区指定について (2)報告事項 大山バイパス周辺広告景観形成地区指定について
						参加者数 6名
						成果及び 課題 委員の委嘱と、報告事項に関して専門 的知見から意見をいただいている。
26	伊勢原市下水道運営審議会	継続	土木部下水道経営課	政治経済学部 経営学科 松原 沙織 准教授	市長の諮問に応じ、受益者負担金、下水道使用料、下水道の運営について審議するほか、下水道事業の運営に関する事項を調査・研究する。	期 日 令和元年5月24日
						場 所 アクアクリーンセンター
						内 容 公共下水道全体計画の見直し及び公営 企業会計予算について
						参加者数 12名(委員数)
						成果及び 課題 下水道運営審議会において、専門的見 地から意見をいただいている。
27	伊勢原市文化財保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担当	文学部 歴史学科考古学専攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問に応じ、文化財の指定、その指定の解除、保存及び活用に関する専門的、技術的事項を調査審議し、教育委員会に建議する。	期 日 令和元年8月30日
						場 所 伊勢原市役所第2委員会室
						内 容 手中明王太郎大工道具調査報告 他
						参加者数 審議委員数6名
						成果及び 課題 今年度事業の進捗状況及び成果報告 を行った。
28	伊勢原市いじめ問題専門調査会	継続	教育部 教育指導課	医学部外科学系 救命救急医学 市村 篤 講師	いじめ防止対策推進法に基づく、いじめ防止等のための対策及び重大事態についての調査を行う。 ・任期2年 ・令和元年5月改選	期 日 年2回(5月、2月予定)
						場 所 伊勢原市役所2C会議室
						内 容 いじめ問題全般における意見交換及び 協議
						参加者数 16名
						成果及び 課題 協議内容を市全体で共有した。いじめ 重大事態発生時の委員報酬の確保に ついて

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
29	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	課程資格教育セン ター 教育学研究室 古里 貴士 講師	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 令和元年5月31日、9月20日、 令和2年3月（未定）
						場 所 伊勢原市立中央公民館ほか
						内 容 社会教育全般について意見を述べる。
						参加者数 12名
						成果及び 課題 専門的見地から意見をいただいた。
30	伊勢原市立子ど も科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日 令和元年7月24日 令和2年2月（予定）
						場 所 子ども科学館会議室
						内 容 子ども科学館事業、運営計画等につい て
						参加者数 7名
						成果及び 課題 専門的な見地からご意見をいただいた。

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	★令和元年度伊 勢原人権啓発講 演会	新規 (単年度)	市民生活部 人権・広聴相 談課	体育学部 競技スポーツ学科 両角 速 准教授	市民一人ひとりが人 権に対する理解と認 識を深め、差別や 偏見のない、相互 の人権を尊重しあ える地域社会の実 現に寄与する。	期日 令和元年12月5日
						場所 伊勢原市立中央公民館
						内 容 講演
						参加者数 250名
						成果及び 課題 相手の人格を尊重し自分の概念を押し つけない両角監督の指導者としての考 え方、学生との接し方等の話を通じ、市 民の人権に対する理解と認識を深めるこ とができた。
2	いせはら市民大 学講座(社会教 育課と共催)	継続	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	福祉政策の推進に 必要な人材育成を 着実に進めるため、 地域福祉に関する 研修講座を行う。	期 日 令和元年10月に実施予定だったが台風 のため中止
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び 課題 —
3	★東沼目安心見 守り隊	新規	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	東沼目自治会で 行っている見守り活 動に生徒が参加し、 地域の支え合い活 動について理解を 深める。	期 日 令和元年6月、7月、11月、12月
						場 所 東沼目自治会館ほか
						内 容 1人暮らし高齢者の住宅を回り、安否確 認を行う
						参加者数 不定
						成果及び 課題 学生の視点から、地域支え合い活動の 課題点等をいただき、地域の活動の改 善につながっている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
4	市民公開講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とした公開講座を開催する。	期 日 令和元年6月15日
						場 所 東海大学伊勢原校舎 松前記念講堂
						内 容 やさしい肝臓病のはなし
						参加者数 67名
						成果及び 課題 肝臓病やその治療について知識を深めることができた
5	いきいき健康講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康科学部長 沓澤 智子 教授	地域住民を対象とした生活習慣病予防講座を開催	期 日 令和元年9月9日 ～令和2年2月13日 全6回
						場 所 東海大学伊勢原校舎2号館等
						内 容 フレイル予防に関する内容
						参加者数 約110名の申し込み
						成果及び 課題 昨年度に比較し、参加者が増えた。
6	伊勢原市クルリン 健康ポイント事業	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康科学部長 沓澤 智子 教授	普段運動をあまり行わない方や、健康づくりには興味があっても、行動に移せない市民等を対象に、健康ポイント制導入による運動・スポーツプログラムを行い、楽しみながら気軽に参加できる健康増進の環境を提供する。	期 日 令和元年9月1日～令和2年3月14日
						場 所 東海大学伊勢原校舎 他
						内 容 毎日の歩数確認、月1回行う講義と運動・スポーツプログラムの実施
						参加者数 247名
						成果及び 課題 健康意識の向上、運動実施率の増加、健康づくりへの関心などに一定の効果があつた。 スポーツ無関心層の参加獲得が必要である。
7	★子育て応援 フェスタ 「楽しく選んで♪ 食育レストラン」	新規 (単年度)	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学科 森 真理 准教授	若い世代の食育推進のため、食事サンプルを使用した食事バランスチェック(食育SATシステム)を実施する。	期 日 令和元年11月16日
						場 所 行政センター体育館
						内 容 食事バランスのアドバイス
						参加者数 63名
						成果及び 課題 栄養素の過不足等が客観的に見えるシステムのため、利用者が理解しやすく、より良い食事バランスとなるよう、アドバイスを実施できた。
8	総合型地域スポーツクラブ運営事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部長 沓澤 智子 教授	市民の体力・健康増進を図るため、年間を通して、5種目のウィークデースポーツ教室と看護・社会福祉・スポーツ運動講座を設け、市民の継続的な運動・スポーツ活動の展開を推進する。	期 日 平成31年4月2日～令和2年3月25日
						場 所 東海大学伊勢原校舎 外
						内 容 健康講座と運動教室等の講座を開催
						参加者数 134名
						成果及び 課題 クラブ発足時の担当教員リタイヤ等に伴う運営体制の検討。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
9	子育てサポーター、ファミリー・サポート・センター支援会員研修会	継続	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日 令和元年10月3日
						場 所 伊勢原市立子ども科学館2階会議室
						内 容 小児看護の基礎知識
						参加者数 15名
						成果及び課題 子育てサポーター及びファミリー・サポート・センター支援会員が、乳幼児に携わる活動を行ううえで重要な、小児看護の基礎知識について、理解を深めることができた。また、心肺蘇生法やトラブル対応時の演習において、専門的な知識を習得することができた。
10	大学開放講座	継続	教育部 社会教育課	健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期 日 令和元年10月26日、11月9日、11月16日、 11月30日、12月14日 (全5回)
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 健康や生活、福祉などの基礎知識及び体力作りのための基礎技術について学習する機会を提供
						参加者数 28名
						成果及び課題 生涯学習に対するニーズが高まる中、市民が健康、生活、福祉や運動についての基礎知識を学ぶことができた。
11	★令和元年度中沢中学校区家庭教育講演会	新規 (単年度)	教育部 社会教育課	体育学部 競技スポーツ学科 陸川 章 教授	家庭教育に関する講演会を開催し、市民の学習活動の支援を図る。	期日 令和元年11月30日
						場所 伊勢原市立中央公民館 1階展示ホール
						内容 講演
						参加者数 100名
						成果及び課題 地域による子育て・青少年健全育成について考えるための機会となった。
12	第24回いせはらし展開催に伴う審査委員	継続	教育部 社会教育課	教育支援センター 技術支援課 青柳 豊和 係長	創作活動の発表の場や鑑賞の機会を提供し、心豊かな活力ある社会の実現に寄与する。	期日 令和元年6月15日
						場所 伊勢原市立中央公民館
						内容 審査・講評
						参加者数 150名(出品者)
						成果及び課題 作品に対する審査・講評をいただき、市民の文化芸術に対する関心や、創作活動の意欲向上に繋がった。
13	市民のための図書館教養講座	継続	教育部 図書館・子ども科学館	中央図書館 図書課 文化社会学部 文芸創作学科 三輪 太郎 教授	市民の読書意欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日 令和元年11月24日
						場 所 図書館AVホール
						内 容 平成の日本文芸 これだけは読んでおきたい10作
						参加者数 44名
						成果及び課題 市民の生涯学習の場として好評を得ている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
14	科学実験教室	継続	教育部 図書館・子ども科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	身近な材料を用い 実験・工作を通して、科学に対する興味をもってもらい講座を開催する。	期 日 令和元年8月1日
						場 所 子ども科学館 工作／実験室
						内 容 科学実験教室「いろいろなシャボン玉を作ろう」
						参加者数 29名
						成果及び 課題 大学教授による授業のため、市内中学校化学部が特別参加した。

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	TOKAIグローバルフェスタ湘南マルシェ出店	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	地域連携センター 地域連携課	東海大学湘南キャンパスに特産品をPRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 令和元年10月19日
						場 所 東海大学湘南キャンパス
						内 容 日本遺産に認定されたストーリー「大山詣り」の周知と伊勢原市のPR
						参加者数 200名
						成果及び 課題 子連れの家族に人気。行列が途切れなかった。次回は人員増やして対応したい。
2	東海大学伊勢原校舎物産展	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部 観光学科 伊勢原総務課	東海大学医学部付属病院に推奨みやげ品等の販売スペースを開設し、物産品を販売する。	期 日 令和元年8月6日、8月7日 令和2年1月～2月（予定）
						場 所 東海大学医学部付属病院 バス停前
						内 容 推奨みやげ品等の販売スペースを開設し、物産品を販売する。
						参加者数 —
						成果及び 課題 病院スタッフやお見舞いに来た方を中心に購入していただいた。
3	道灌まつりポスターデザイン	継続	経済環境部 商工観光課	地域連携センター 所長 教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日 令和元年7月
						場 所 —
						内 容 道灌まつりポスターデザインの作成
						参加者数 4名
						成果及び 課題 5点のデザインから選出。
4	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 橋本 佳典 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 令和元年6月、12月 令和2年3月頃を予定
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 総会、事業の途中経過等報告他
						参加者数 22名
						成果及び 課題 観光・交通事業、大学教授等から専門的な意見をいただき、観光の核づくり事業を推進した。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
5	第52回伊勢原観光道灌まつりに係る「市民安全・安心パレード」	継続	伊勢原観光道灌まつり実行委員会（商工観光課）	東海大学吹奏楽研究会	交通安全関係者及びボーイスカウト等とパレードを行い、交通安全等と呼びかける。	期 日 令和元年10月6日
						場 所 伊勢原駅周辺
						内 容 パレード参加
						参加者数 約60名
						成果及び課題 道灌まつりパレード途中に定点演奏を行い1時間10分のパレードを実施した。
未実施	丹沢湘南観光連携会議	継続	経済環境部商工観光課（観光協会）	観光学部観光学科 岩橋 伸行 教授	伊勢原市、秦野市、平塚市、大磯町、二宮町、中井町、湘南地域県政総合センター、東海大学観光学部によりツアー企画などの会議を開催する。	期 日
						場 所
						内 容
						参加者数
						成果及び課題 招集があれば参加

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	風水害に関する学術研究への支援	継続	企画部危機管理課	工学部土木工学科 杉山 太宏 教授	近年の被害を踏まえ、鈴川（大場田橋）に水位計を設置し、早期避難体制の構築を図る。	期 日 通年
						場 所 鈴川大場田橋
						内 容 水位計の設置
						参加者数 延べ5名
						成果及び課題 県との設置場所の選定及び占用協議

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	継続	教育部図書館・子ども科学館	中央図書館図書課	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日 随時
						場 所 伊勢原市立図書館及び東海大学付属図書館
						内 容 東海大学付属図書館の資料の貸出
						参加者数 34名
						成果及び課題 東海大学が所蔵する専門的資料を利用に供することができた。
2	伊勢原市教育センター研究発表会	継続	教育部教育センター	伊勢原総務課	教育センターの指定課題別調査研究と自主課題別調査研究に携わった団体が研究の成果について発表、パネルディスカッション等を行った。	期 日 令和元年8月20日
						場 所 東海大学伊勢原キャンパス講堂A
						内 容 研究成果の発表等
						参加者数 131名
						成果及び課題 ICT機器を活用し、その環境を生かした発表をすることができた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
3	★東海大学婦恋 高原研修セン ター施設利用に 係る覚書の締結	新規	企画部 経営企画課	総務部人事課	群馬県吾妻群婦恋 村にある「東海大婦 恋高原研修セン ター」について、伊 勢原市民が東海大 学関係者と同じ割 引価格で利用できる 覚書を締結する。	期 日 令和2年3月末(予定)
						場 所 ー
						内 容 施設利用に関する覚書の締結と市民への広報。
						参加者数 ー
						成果及び 課題 市民が割引価格で施設利用ができるとともに、施設側も稼働率向上が見込める。

(8) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
1	★伊勢原市制施 行50周年記念事 業市民ワーク ショップ	新規 (単年度)	企画部 経営企画課	教養学部芸術学科 池村 明生 教授 芸術学科学生	地元学生や市民、 関係機関の参画に より、令和3年の一 年間、市制施行50 年を祝う各種事業で 使用する「キャッチ フレーズ案」及び 「記念事業」の企画 立案をしていただき 、祝意の醸成とP Rを図る。	期 日 令和元年6月29日
						場 所 中央公民館
						内 容 他の市民も含めたグループワークに参加し、キャッチフレーズ案と企画事業を考案、提案する。
						参加者数 芸術学科学生6名(全22名中)
						成果及び 課題 50周年記念キャッチフレーズ候補4案及び複数の記念事業アイデアの提案をしていただいた。
2	★伊勢原市制施 行50周年記念事 業ロゴマーク等の 作成	新規 (単年度)	企画部 経営企画課	教養学部芸術学科 池村 明生 教授 芸術学科学生	市民投票により選定 されたキャッチフ レーズを基に、市制 施行50年を祝う各 種事業で使用する ロゴマーク等を作成 し、広く市民等にも 利用できるよう公表 する。	期 日 令和元年9月～令和2年2月(予定)
						場 所 ー
						内 容 ロゴマークデザインの作成。
						参加者数 芸術学科学生14名
						成果及び 課題 池村ゼミ生14名からデザイン案を提案いただき、調整会議の審査により選定された1案を完成に向けてブラッシュアップしていく。
3	伊勢原市デジタル 移動通信シス テム連絡協議会	継続	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 中沢 康治 係長	デジタル移動通信 システムの管理及び 運用基準等につい て確認を行う。	期 日 平成31年4月12日
						場 所 市役所
						内 容 管理・運用基準の確認等
						参加者数 13名
						成果及び 課題 毎月19日に通信訓練を実施
4	ビッグレスキュー かながわ(神奈川 県伊勢原市合同 総合防災訓練)	継続	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課ほか	災害時拠点病院及 びDMAT指定病院 における災害時医 療救護活動訓練を 通じて防災関係機 関との連携体制の 確認を行う。	期 日 令和元年8月31日
						場 所 東海大学医学部付属病院
						内 容 令和元年度県市合同総合防災訓練
						参加者数 約150名
						成果及び 課題 災害時医療救護活動の充実強化

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
5	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 出雲 明子 准教授	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日 令和元年8月5日～8月9日
						場 所 伊勢原市役所
						内 容 各所属における行政体験実習
						参加者数 3名
						成果及び 課題 地域の大学と連携した人的資源の活用が図られる。
6	伊勢原市平和史料収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	平和史料収集事業（平和史料展示、史料のデータベース化、戦争体験談のインタビュー録画等）の実施に向けて、事業の進め方への協議をするとともに、インタビュー等については学生に協力してもらおう。 また、中学生の平和の旅に同行してもらい、学習の成果を撮影してもらおう。	期 日 令和元年8月5日、6日 中学生平和学習 フォトストーリー作成補助 令和元年8月18日「第33回平和のつどい」
						場 所 伊勢原市民文化会館、広島平和記念公園等
						内 容 ・伊勢原市被爆者の会を対象に撮影したドキュメンタリー映像の上映を行った。 ・「中学生平和の旅」に東海大学学生4人及び水島教授に同行してもらい、派遣者が「平和のつどい」での体験報告に用いるフォトストーリー作成の補助を行った。
						参加者数 ・被爆者の会ドキュメンタリー作成対象者:6名 ・中学生平和の旅派遣中学生:8名 ・「第33回平和のつどい」小ホール来場者数:218名
						成果及び 課題 ・市内被爆者団体である伊勢原市被爆者の会を対象に、「被爆者の会ドキュメンタリー」を作成し、8月18日の「第33回平和のつどい」にて映像を上映することができた。 ・「第33回平和のつどい」での中学生の広島平和学習体験報告のため、フォトストーリーの作成を補助してもらい、より効果的に市民への平和意識の啓発を行うことができた。 ・収録した戦争体験インタビュー及び被爆者の会ドキュメンタリー映像の公開手法について検討していく必要がある。 ・戦争体験者の減少に伴い、これまでに撮影した映像等の効果的な活用方法を検討する必要がある。
7	治験審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会 安藤 潔 教授	治験に先立って治験の安全性と理論性の審査を行う。	期 日 毎月1回 7回
						場 所 東海大学第1号館
						内 容 治験審査
						参加者数 19名 審査委員
						成果及び 課題 治験委員会外部委員として出席
8	臨床研究審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 臨床研究審査委員会 灰田 宗孝 委員長	人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関して審査を行う。	期 日 月1回 8回(今後4回実施予定)
						場 所 東海大学伊勢原校舎 1号館
						内 容 人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関しての審査
						参加者数 審査委員21名(市は2名)
						成果及び 課題 臨床研究の審査が適正に行われている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
9	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 令和元年7月30日
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 効率的かつ安定的な運航を行うための調整及び検証
						参加者数 63名
						成果及び課題 効果的かつ安定的なドクターヘリ運航に向けた調整が図られた。
10	東海大学医学部附属病院ドクターカー運営委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	東海大学医学部附属病院での救急体制に関する検討を行う。	期 日 令和2年1月末(予定)
						場 所 予定
						内 容 予定
						参加者数 予定
						成果及び課題 予定
11	健康いせはらサポーター養成講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授	健康いせはらサポーター養成のための講習会を行う。	期 日 令和元年7月31日
						場 所 シティプラザ(研修室)
						内 容 「ボランティア活動の基本について」講義
						参加者数 5名
						成果及び課題 ボランティア活動についての基礎知識や心構えなどについて学ぶことができた。
12	東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	病院の医療安全管理業務が適切に遂行されていることを確認するため、監査委員の立場から、必要な意見・助言を行う。	期 日 令和元年9月27日
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 部長出席予定だったが欠席
13	東海大学地域の健康課題解決推進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	地域連携センター 健康学部長 堀 真奈美 委員長	地域における民産官学が連携し、地域の健康課題の具体化及び潜在的な市民ニーズを明らかにし地域の健康課題の解決を推進する。	期 日 令和元年10月28日
						場 所 東海大学湘南校舎5号館
						内 容 各市町の健康課題と今後の進め方
						参加者数 17名
						成果及び課題 各市町の健康課題の集約と今後の進め方について議論
14	伊勢原市教育委員会点検評価 (外部有識者による意見)	新規	教育部 教育総務課	文化社会学部 アジア学科 小林 元裕 教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる(意見書の作成)。	期 日 令和元年7月1日・8月1日
						場 所 伊勢原市役所 第3委員会室
						内 容 令和元年度教育委員会点検評価報告書の作成(平成30年度事務事業の点検評価)
						参加者数 16名
						成果及び課題 外部有識者として意見書を頂いた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
15	教職課程教育実習	継続	教育部 学校教育課	教育学部 資格教育課 伊勢原教学課	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 令和元年5月～6月
						場 所 市内中学校（元年度は伊勢原中）
						内 容 教育実習（元年度は数学）
						参加者数 1名
						成果及び 課題 教員養成の一助となっている 来年度配置校について
16	養護実習	継続	教育部 学校教育課	教育学部 資格教育課 伊勢原教学課	養護教諭免許状取得のための実習を行う。	期 日 令和元年5月～6月
						場 所 大田小学校・緑台小学校・中沢中学校
						内 容 教育実習（養護教諭）
						参加者数 3名（各校1名）
						成果及び 課題 教員養成の一助となっている 次年度配置校の検討
17	学校訪問教育相談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 高橋 有記 助教 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日 第1回：令和元年6月27日 第2回：令和元年8月5日 第4回：令和元年10月24日 第6回：令和元年11月11日 第7回：令和元年11月21日
						場 所 第1回：石田小学校 第2回：中沢中学校 第4回：比々多小学校 第6回：成瀬小学校 第7回：緑台小学校
						内 容 不登校や多動など、集団生活にうまく適応できない児童生徒について、心理学及び医学的な側面から専門的なアドバイスを受けながら、事例研究・情報交換等を行うことにより、児童生徒理解を深める。
						参加者数 各回20名～30名程度
						成果及び 課題 専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となっている。
18	ハートフルフレンド活用事業	継続	教育部 教育センター	健康学部 健康マネジメント学科 小林 理 准教授 課程資格教育センター教育学研究室 朝倉 徹 教授	話し相手がいらない、仲間に入りづらい、集団活動に適応しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日 週1日程度
						場 所 伊勢原市内小中学校
						内 容 話し相手がいらない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動
						参加者数 延べ 2名
						成果及び 課題 学生にボランティア活動を行う機会を提供できている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和元年12月末時点）
19	東海学級連絡協議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 小池 隆志 講師 伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日 第1回:令和元年5月9日 第2回:令和元年11月7日 第3回:令和2年2月20日(予定)
						場 所 東海大学医学部付属病院会議室
						内 容 第1回:年間計画、在籍状況、学級の近況について 第2回:2学期の行事・学習、在籍状況、学級の近況について 第3回:1年間の運営実績報告、次年度の予定等について
						参加者数 各回15名前後
						成果及び課題 東海学級の管理・運営について共通理解が促進され、東海学級の円滑な運営を図ることができている。
20	適応指導教室実習	継続	教育部 教育センター	東海大学大学院 文学研究科コミュニケーション学専攻臨床心理学系の授業の一環としての実習 担当:文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	教育センターと大学院側双方のそれぞれのねらいを達成することを目的に教育センター・適応指導教室において実習を行う。	期 日 令和元年10月～
						場 所 適応指導教室
						内 容 児童・生徒の抱える問題やニーズの把握し、適切な支援を行う。
						参加者数 1名
						成果及び課題 適応指導教室通室児童生徒への適切な関わりを通じ適応指導教室のより良い運営を図ることができている。
21	子ども科学館フェスティバル科学実験教室	継続	教育部 図書館・子ども科学館	チャレンジセンター・サイエンスコミュニケーター	5月に行われる子ども科学館フェスティバルの中で子ども向けの科学実験教室を実施する。	期 日 令和元年5月4日・5日
						場 所 子ども科学館 パソコン室
						内 容 スライムづくり、ブラックウォールづくり、芳香剤づくり、マープリング実験等の実験教室の実施
						参加者数 延べ360名
						成果及び課題 多くの学生に従事いただいたことで、たくさんの子どもが科学の不思議にふれる体験ができた。
未実施	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	学生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日
						場 所
						内 容
						参加者数
						成果及び課題 放課後子ども教室の運営を支援するボランティアを募集したが、従事する学生が参加までには至っていない。
未実施	博物館実習	継続	教育部 図書館・子ども科学館	教学部 資格教育課	学芸員資格取得のための実習を行う。	期 日
						場 所
						内 容
						参加者数
						成果及び課題 令和元年度の実習希望者はなし。次年度以降も、希望者があれば引き続き受け入れる。